

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2025

7

vol.226



未来の食を守る

田代 竜太さん
城南／小田原市本町

ニンニク20a、タマネギ10a、
キウイフルーツ50a、カンキツ
30a、露地野菜16a栽培

小田原市久野地区の畑で仲間と一緒にニンニクの収穫に汗を流す田代さん。一株ずつ抜き、根を切り落とし、サイズごとに分ける作業を行いました。1日で150kgほどを収穫。すぐにJA福沢選果場に運び、乾燥機で乾燥した後、『西湘ニンニク』として出荷されます。

田代さんは学生時代、ボランティアで農業に関わるなか、これからの日本の『食』に不安を感じ、自ら農家になる決意をしました。2年間農家で修行し、23歳で就農。今ではカンキツや野菜など約130aを栽培しています。ニンニクは3年前から『平戸』や『嘉定』の品種を20aほど手掛けています。

農業を続けていくうえで、人手不足に直面。行政に相談したところ農福連携を提案されました。今では5か所の就労支援事業所の人たちが仲間になりました。田代さんは「コンテナを色分けするなど作業のやり方を工夫すれば、障がいがあっても大きな力になる。これからも力を合わせて農業を守り続けたい」と目を輝かせていました。

ドローンで作業を省力化

「農作業受委託事業に追加」

JAでは夏場や中間山間地での農作業軽減に向け、令和7年度より農作業受委託事業に小型無人機ドローンを活用した作業を追加しました。作業の受付はJAで行い、JAと契約している専門業者へ委託し、農薬や肥料の散布作業を行います。

JAでは労働力支援体制の充実と農業基盤の維持を目指しています。令和3年度より農業支援隊を発足させ、農作業受託事業を本格的にスタートしました。水稻の春・秋冬の作業、茶の防除・台刈り作業と、カンキツ・キウイフルーツでは防除やせん定などを請け負っています。

昨年は温暖化の影響でカメムシが大量発生し、果樹や水稻など不稔被害

害が多く発生、収穫が激減する非常事態となりました。カメムシ対策には適期の薬剤散布と、広域で一斉に防除することが効果的と言われてい

ます。多くの農家は、背負い動噴や人手による散布作業を行っているため、作業の省力化が大きな課題となっていました。

そこでドローンによる防除と施肥を農作業受託事業として導入。散布



南足柄市内山地区での防除の様子

布の作業は株式会社コヤワオフィスが行います。5月19日にはJAが農業経営事業を行っている南足柄市内山地区の17か所約2・7haの水田で雑草防除散布を実施。農家10人が散布の見学をしました。今後、スターフル剤の広域防除を内山地区で提案します。ドローン一回のフライトで粒剤は20kgまで可能。今回は2・7ha

今後の散布予定

令和7年 7月17日(木)	9時から	スターフル液剤
令和7年 8月1日(金)	9時から	スターフル液剤
令和7年 8月15日(金)	9時から	スターフル液剤

〔場所〕 JA農業経営ほ場（南足柄市内山地区）

お問合せ先：営農部営農企画課 ☎0465(46)6952

を1時間ほどで作業を完了しました。作業は最低料金が設定されているため、近隣ほ場の方と共同で申し込みいただくことが有効です。JAでは「カメムシ対策は近隣農地で共同作業を行うことが大切。地域の組織等が中心となって、防除に取り組んでほしい」と呼び掛けています。

申し込みは各支店および営農経済センターで受付いたします。今後内山地区ではドローン散布を計画していますので、見学を希望される方は営農部営農企画課までご連絡ください。

理事会だより

～主な議題～

令和7年5月27日

◆令和6年度決算及び第19期通常総代会資料等並びに部門別損益計算書の承認について

令和7年6月26日(木)に開催する第19期通常総代会の資料が示され、提案される令和6年度事業報告並びに部門別損益計算書をはじめ、第7次3か年計画(令和7年度～令和9年度)及び令和7年度事業計画とそれに付属する自己改革工程表などについて内容を協議した結果、承認されました。

◆令和8年度新規学卒者採用計画等について

令和8年度の新規学卒者の採用予定者数を24名以内とすること、また転職や育児・介護等の理由で一度退職した職員を再雇用する制度を新たに設ける計画が承認されました。

◆令和7年産米の取扱いについて

令和7年産米の取扱いについて当JAの出荷契約米目安価格が概算金を満たさない場合、差額分を補填することについて協議した結果、承認されました。詳細についてはP3営農コーナーに掲載しています。

令和7年産JA出荷契約米 目安価格の決定について

令和7年産米穀の概算金価格につきましては当初、以下の銘柄（袋／30kg）の1等米を9,500円でお支払いすることで組合員の皆さまにご案内させていただきました。しかしながら、昨今高騰する生産コストを取り引価格に反映すること、さらには集荷率の向上をはかるため、当JA独自の買取価格（目安価格）を設定させていただきました。概算金が目安金額に満たない場合には差額分をJAで補填することを令和7年5月の理事会で決定しましたので、再度ご案内いたします。

袋／30kg

目安価格

はるみ米・1等：
23,000円(60kg)

確約・持込加算金は条件を満たしていない場合は支払いがありません

銘柄	1等	2等
はるみ	11,500円 〔概算金：10,900円〕 〔確約加算金：500円〕 〔持込加算金：100円〕	11,200円 〔概算金：10,600円〕 〔確約加算金：500円〕 〔持込加算金：100円〕
てんこもり キヌヒカリ さとじまん コシヒカリ	11,000円 〔概算金：10,400円〕 〔確約加算金：500円〕 〔持込加算金：100円〕	10,700円 〔概算金：10,100円〕 〔確約加算金：500円〕 〔持込加算金：100円〕

○確約加算金とは…出荷契約で確約契約（出荷契約数量の95%～120%）した米穀に一袋（30kg）500円の加算金が支払われます。

○持込加算金とは…出荷者自身で持ち込んだ場合一袋（30kg）100円の加算金が支払われます。

※正式な概算金価格は9月初旬に改めて周知いたします。

※今後、米市況価格が大きく高騰した場合には、追加概算金が加算される場合があります。

令和7事業年度

『施設園芸等燃油価格高騰対策』

『施設園芸セーフティネット構築事業』公募に伴う説明会について

○開催日時・場所：令和7年7月7日（月）13：30より JAかながわ西湘 本店 3階第2・3会議室

○参 集 者：施設園芸農家（灯油・A重油等を使用し加温している農家）

○内 容：「施設園芸等燃油価格高騰対策にかかる施設園芸セーフティネット構築事業」について

○持 ち も の：（1）過去7年間の燃油購入実績がわかる書類（領収書や請求書など）※7年間分の書類がない場合は最低直近3年間分が必要となります。（2）電卓 （3）筆記用具

○事業概要：A重油および灯油等の全国平均価格が基準価格（セーフティネット発動）を超えた場合に補てん金が交付されます。なお、交付される補てん金は農家と国、それぞれ半分ずつ積み立てます。

＜加入条件＞

①施設園芸農家3戸以上、または5名以上の常時従事者がいる施設園芸農家。

※個人（1戸）での取り組みは不可となります。

②燃油使用量削減目標（削減率15%以上）と目標達成に向けた「省エネルギー推進計画」の作成と取り組みが必要となります。

※出席する方は7月3日（木）までにご連絡下さい（期日厳守） 営農部営農指導課 ☎0465（46）6950

※すでに取り組まれている実施者向け説明会は、別途ご案内いたします。

イネカメムシについて

ここ数年、『イネカメムシ』の発生が多くなってきています。本虫は**籾の基部を加害し、不稔や斑点米を発生**させるため、多発した場合には品質の低下のみならず不稔により、大きく減収する場合があります。

イネカメムシは、出穂期前から成虫が飛来し、出穂期のイネの穂に吸汁加害を与えます。

◆イネカメムシの防除について

①発生の有無を確認する

・発生地域が拡大傾向にあるので、前年発生が見られなかった地域でも注意が必要です。

出穂期前の7月から水田をよく観察してください。日中は株元の方に移動しますので、朝のうちに確認しましょう。

②発生が確認されたら薬剤による防除

・不稔被害を防ぐ→出穂期～穂揃い期に防除を行う。（1回目防除）

・斑点米被害を防ぐ（他の斑点カメムシと同時防除）→穂揃い期の7～10日後に防除を行う。（2回目防除）

※防除についての詳細は各営農経済センターだよりを参考にしてください。



イネカメムシ

『地域農業応援プログラム』では、カメムシ駆除農薬購入を助成しています。



夏本番！暑い日が続き、食欲も落ちて体がバテ気味という方が多いのではないのでしょうか。そこで、今の季節にぴったりのトマトとニンニクを使った元気の出るメニューを紹介します！

ニンニク

香り成分のアリシンは細胞を壊すことで多く発生するため、繊維に沿って縦に切るよりも繊維を断つように横に切ったほうが、香りが強く出ます。またアリシンはビタミンB₁と結合すると疲労回復効果のあるアリチアミンに変化。ニンニクにはビタミンB₁も含まれているため、スタミナを回復させる効果が高い野菜と言えるでしょう。



◆においを消すには？

おいしいけれども、気になるニンニク臭。食べるときと一緒に牛乳や緑茶を摂取すると、胃でアリシンが吸収されるのを防ぎ、臭いが軽減できる効果があるそうです。

ニンニクを使った唐辛子味噌を紹介

◎万能調味料！唐辛子味噌

■材料

- 砂糖……………600g
- 粉唐辛子……………50g
- ごま油……………200～250ml
- 味噌……………1kg（赤味噌500g、白味噌500gがおすすめ）
- おろしニンニク…70g
- うま味調味料……小さじ2
- 白いりごま……70g



辛さの苦手な人はマヨネーズを合わせると味がまろやかになります



■作り方

- ①ボウルに砂糖と粉唐辛子を入れ、よく混ぜる。
砂糖の塊はつぶしながら混ぜると良い
※粉唐辛子を素手で触ると手が荒れてしまうため、手袋を使用すること
- ②ごま油を加え、しっかり練る
※しっかりと練り合わせないとごま油が混ざらずに油っぽくなってしまいますので、注意すること
- ③味噌を入れ、照りが出るまでよく練る



- ④うま味調味料を入れ、よく混ぜ合わせる



- ⑤おろしニンニクを入れ、よく混ぜる



- ⑥最後に白いりごまを入れ、よく混ぜ合わせたら完成



杉山さんおすすめの食べ方

キュウリなどの夏野菜につけて食べるのはもちろん、麻婆豆腐、焼きおにぎり、焼き肉などのメニューにも大活躍。また、唐辛子味噌をお湯で溶いてしょうゆとわかめを入れれば、クッパのようなスープに変身。ご飯のお供にしてもおいしいですし、ぜひこの唐辛子味噌で夏を乗り切ってください。



杉山 清子さん
（湯河原中央／湯河原町吉浜）
料理が大好きで、このレシピは30年ほど前に知人から頂いた味噌をもとに考案。杉山さんが作る唐辛子味噌は、友人から友人、知人から知人へと広がり、多くの町民が食べているそうです。



トマト・ニンニクパ

トマト

トマトの赤い色は色素成分であるリコピン。抗酸化力が高く、生で食べるよりも加熱したり、すりつぶすことで効果的に摂取できます。油と合わせると吸収率が上がるので、オリーブオイルなどと一緒に食べるとさらにパワーUP!!

また、うま味成分グルタミン酸が含まれているので、料理の味いを深めてくれます。



トマトを使ったレシピ紹介

◎梅ケチャ

フライドポテトやオムレツなどのソースやパスタにも合います。

■材料

トマト… 1 kg (5～6個)
梅干し… 大4個

[A]

おろしたタマネギ… 大さじ6
おろしニンニク… 小さじ2
砂糖… 大さじ1
酢… 大さじ1
塩… 小さじ1



ピザのソースに使っても
おいしいです



■作り方

- ① トマトは湯むきして2～3cm角に切り、梅干しは種を取ってたたいて細かくする
- ② フライパンに①と[A]を入れて強めの中火にかけ、時々混ぜながら汁気がなくなるまで15～20分煮詰めたら完成

※ あら熱が取れたら、煮沸消毒した保存容器に入れて冷蔵庫へ

◎簡単トマトのソテー

トマトは焼くことで甘みが増します。油やマヨネーズでいためたり、粉チーズをふったり、アレンジは自在です。フレッシュとは一味違った味わいをお楽しみください。

■材料

トマト… 1個
オリーブオイル… 大さじ1
塩・コショウ… 少々
パセリ（みじん切り）… 少々

■作り方

- ① トマトを輪切りにする
- ② フライパンでオリーブオイルを熱し、①を焼く。焼き色が付いたらひっくり返し、片面も焼き色が付くまで焼く
- ③ 塩・コショウで味を調え、パセリを散らしたら完成



関東一早い収穫を アピール

～曾我梅林で梅の初もぎ～

曾我梅林で5月21日、梅の初もぎが行われました。収穫したのは梅酒用品種の『白加賀』40kgで、本格的な出荷を前に京浜方面の市場へ一足早く出荷し、関東で一番早い収穫をアピール。今年は年明けに気温が低く開花が遅れましたが、4月下旬から暖かい日が続き、適度な降雨もあり玉伸びは良好。ひょう害もなく、高品質な実に仕上がっています。小田原市梅研究会の柏木茂高会長は「曾我の梅は今年も高品質な実に仕上がったのでぜひ味わってほしい」とPRしています。



一粒ずつ丁寧に収穫する生産者

未来につなげ協同組合の力

～支部長・総代合同研修会を開く～

J Aは5月17日、小田原三の丸ホールで『支部長・総代合同研修会』を開きました。支部長と総代、理事ら約430人が参加し、協同組合のあり方や地域リーダーの役割などを学びました。第一部ではJ A神奈川県中央会くらし対策部の丸岡慎一朗次長が『支部長・総代の役割と今後の組織活動』と題して地域未来を切り開く仕組みづくりについて説明しました。第二部では『いまこそJ Aに結集しよう！』をテーマに文芸アナリスト、食料、農業・農村ジャーナリストの大金義昭さんが「組合員主体の協同活動とJ Aの事業をかけ合わせると大きな力になる」と解説されました。J Aではこれからも組織活動を活発化させるような取り組みを続けていきます。



J Aの力について話す大金氏

花の持つ力で心を癒して

～女性部すみれ支部が施設へ寄贈～

女性部助け合い組織すみれ支部は5月20日、施設ボランティア活動として、プランターにベコニアやナデシコなど5種類の花を寄せ植え、地域6か所の特別養護老人ホームに合計30鉢を届けました。添田薫支部長は「花はフラワーセラピーと言われるほど心身に与える効果が大きい。花を通じて入居者に元気になってもらえれば」と期待を込めています。同支部は今年度から女性部組織に編入より充実したボランティア活動をしていく考えです。



花を寄せ植える支部員



支部員が力を合わせて完成

みんなで楽しく

レッツダンス♪

『1000ダンコンテスト』に応募しよう

『家の光』では創刊100周年を記念したダンスコンテスト（略称／1000ダン）を開催しています。JAでは女性部役員や支店長などがこのダンスを踊り、ハッシュタグ『#家の光ダンス』をつけてインスタグラムで投稿しています。みんなで踊って協同組合の素晴らしさを発信していきましょう。応募期間は10月31日（金）までです。ぜひ、皆さまで楽しく踊って応募してください。



100ダンコンテストの
応募要項等は
こちらから



息ぴったりの女性部
の皆さん



ノリノリダンスの
部長と支店長

絵画『農をする人達』がJAに

岡山支店管内の荒井さん制作



伸一さん⑤と妻の幸子さん⑤

南足柄市和田河原の荒井伸一さんより、絵画10点をJAに寄贈していただきました。荒井さんは20歳の頃から農業に携わりながら油絵を描き、安井賞※に入選するなど数多くの賞を受賞。描くテーマは『農をする人達』で、モデルは妻や兄弟、両親など一緒に農作業をする家族。黙々と作業をする姿からは、土の香りを感じ、農作業の音が聞こえてくるようです。荒井さんは「皆さんに見ていただければ絵も喜ぶ。土を耕して生きる農家の力強さや農業が持つ力を感じてもらえたら」と話しています。絵は本店や支店に飾りました。

※画壇の芥川賞ともいわれている

学校の野菜づくりを応援

『学校農園応援事業』に56校応募

JAでは『学校農園応援事業』として学校で行う農園活動の資材や苗代などの費用助成を行っており、今年は過去最高の56校がこの事業に応募しました。

5月7日には小田原市酒匂小学校に職員が出向き、教諭に耕うん機の方法や栽培方法について指導しました。同校の片岡寛仁教諭は「自分たちの考えていた野菜作りの概念が変わった。農園活動を通じて児童に命の大切さを伝えていきたい」と話しました。



みんなで協力して土づくり

インフォメーション

農業機械利用事業

新機種 **畦草刈機** 導入しました

1日の利用金額
1,500円

かねてより要望の多かった畦草刈機を7月22日から開成営農経済センターに導入します。草刈機のハンドルは上下左右に調整でき、長さも伸縮可能なため、傾斜地の畦畔や法面でも楽に草刈りができます。

なお、ご利用にあたっては農業機械利用事業の追加講習会を受講する必要があります。下記の7月実施の農業機械利用事業講習会をぜひご活用ください。



農業機械利用事業講習会のご案内

J Aの農業機械利用事業を利用するための講習会を開催します。
新たに利用する方は、必ず受講ください。

日 時：令和7年7月19日（土）
8：30～12：00（全機種講習）
8：30～9：00【追加講習】（ハンマーナイフモア、**畦草刈機**）

場 所：開成営農経済センター（開成町吉田島2000）

対 象：当J Aの正組合員またはその家族

内 容：9種類すべての取扱い方法（せん定チップパーやトラクター）

申込方法：**令和7年7月11日（金）**までに各支店、または各営農経済センターへお申し込みください

※次回開催（冬期）は 平日の予定です



お問合せ先：営農部 営農企画課 ☎ 0465 (46) 6952

大特価

展示即売会 雨天決行

※当日販売できる肥料には数に限りがあります

※売り切れの際は、後日各営農経済センター等での引き取りになります

肥料・農薬販売、電動農機具展示・相談など

開催日	時間	場所	連絡先
令和7年 7月9日（水）	9：00～13：00	久野営農経済センター （小田原市久野421）	0465 (35) 8010
令和7年 7月12日（土）	9：00～14：00	成田総合選果場 （小田原市成田802-1）	0465 (38) 0131 成田営農経済センター
令和7年 7月19日（土）	9：00～12：00	下中集出荷場 （小田原市小竹116）	0465 (81) 2776 中井支店
令和7年 7月21日（月）祝	8：40～12：00	開成営農経済センター （グリーンセンター）（開成町吉田島2000）	0465 (83) 5156



農業機械・自動車展示相談会

日 時：令和7年7月11日（金）・12日（土） 9：00～15：00
場 所：J A全農かながわ西部農機・自動車センター（大井町上大井238）
内 容：農業機械・自動車等の展示、販売

同時開催 **農業機械安全講習会**
12日（土）13：00～
（電動農機具の安全な取扱いについて）



お問合せ先：J A全農かながわ西部農機・自動車センター ☎ 0465 (83) 4171

JAかながわ西湘

J A かながわ西湘は2025年国際協同組合年
（IYC2025）に賛同しています



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL: 0465 (47) 8125

●かながわ西湘7月号（vol.226）令和7年6月20日（毎月20日発行）
●発行／かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者／宇留間優
●編集／組織企画部組織広報課

J A かながわ西湘ホームページ▶ <https://ja-kanasei.or.jp/> **かながわ西湘**

